

## 1 気象経過

8月は、平均気温が県内各地で観測史上1位、降水量は最上・庄内地域で観測史上最も少ない等、記録的な高温・少雨となった。9月に入り、県内各地で断続的な降雨があったが、平均気温は高い状態が続いている。

## 2 主な農作物の生育(9月12日現在)

### (1) 水稻・大豆



水稻の刈取適期判定

#### <水稻>

- ・ 出穂期以降の高温の影響で、刈取適期が平年と比べて7～10日早まっている。
- ・ 高温の影響で、胴割粒、白未熟粒等の発生による品質低下が懸念される。

#### <大豆>

- ・ 開花期の高温・少雨の影響で落花・落莢がみられ、収量低下が懸念される。

### (3) 野菜



えだまめの収穫作業

#### <えだまめ>

- ・ 現在、中晩生種の収穫期。晩生種の収穫は、9月下旬から開始見込み(例年並)。高温の影響で落花、着莢のバラツキあり。

#### <アスパラガス>

- ・ 現在、夏芽の収穫後半(例年並)。高温の影響で収穫量が減少(奇形芽の発生)。

#### <トマト>

- ・ 高温の影響で着果不良、日焼け果等の発生が散見。11月中旬まで収穫継続見込み。

### (2) 果樹

#### <全般>

高温の影響で、りんご、ぶどう、なし、かき等に日焼け果、もも、りんごで果肉障害の発生が例年より多くみられている。

#### <りんご>

- ・ 高温の影響でりんご「つがる」の収穫盛期は平年と比較し7～10日程度早く、8月22～28日頃。着色が劣り、果肉硬度の低下が早かった。



りんごの日焼け果

#### <もも>

- ・ 主力品種「川中島白桃」は、概ね平年並の8月27～31日頃に収穫盛期となった。糖度高く、食味良好であった。

### (4) 花き



りんどうの着色不良

#### <露地りんどう・きく>

- ・ 秋彼岸に向けた出荷は、高温の影響でやや遅くなる見込み。りんどうの花弁に着色不良が発生。

#### <トルコぎきょう>

- ・ 高温の影響で開花が前進し、切り花長が短くなるなど、一部で品質低下が見られる。

## 3 当面の技術対策(高温乾燥対策)

- (1) 水稻：適期内の収穫と適正な乾燥調製の徹底
- (2) 果樹：高温乾燥対策として灌水の実施、もも、りんご等の適期収穫と厳選出荷、病虫害防除の徹底
- (3) 野菜：トマト、きゅうり等ハウス果菜類での温度管理(換気等)の徹底、えだまめ、ねぎ等露地野菜の適期収穫、排水対策の徹底
- (4) 花き：施設品目での適切な温度管理(遮光、換気等)の徹底、露地品目の排水対策の徹底、適期収穫の徹底、病虫害防除の徹底

## 4 農作業安全対策

本格的な秋作業が始まることから、コンバイン使用中の転落・転倒事故防止、トラクター作業時のヘルメット、シートベルト装着、適切な服装、複数人での作業や声掛け、脚立や高所作業台車の適切な使用等、農作業事故防止のための基本的な対策を徹底する。